

I ハイロゴケグモ

【国内における確認状況】

- ・13 都道府県で確認されている（平成 27 年 9 月 10 日現在）。
- ・東京都内で見つかっているが、繁殖・定着は確認されていない。

【生態：生息地など】

- ・日当たりが良い場所や暖かい場所にある物陰や隙間に生息。
- ・昆虫等を捕食。

●注意すべき場所の例

- ・ベンチの裏
- ・自動販売機の下
- ・ブロックやフェンスの間
- ・エアコンの室外機の下
- ・排水溝のふたの裏や側面
- ・外に置いてあるサンダルの中 等

【形態：大きさや特徴】

- ・雌の体長は約 6～9mm 雄の体長は約 3～4mm（体長とは、頭部の先から腹部の先までの長さであり、足の長さは含まない）。
- ・有毒なのは雌のみで、雄は毒が弱い。
- ・灰色または褐色などの丸い胴体で、腹部背面に縁取りのある赤褐色の斑紋が点在する。
- ・腹面に赤い砂時計状の模様がある。

【原産地・分布】

- ・世界中の亜熱帯、熱帯地域に広く生息。
- ・国内分布：13 都道府県（平成 27 年 9 月 10 日現在）
東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、山口、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄



ハイロゴケグモ（背面）大きいもの：雌／小さいもの：雄



“Brown Widow Spider - Latrodectus geometricus” By Richard Crook



健康被害の具体例

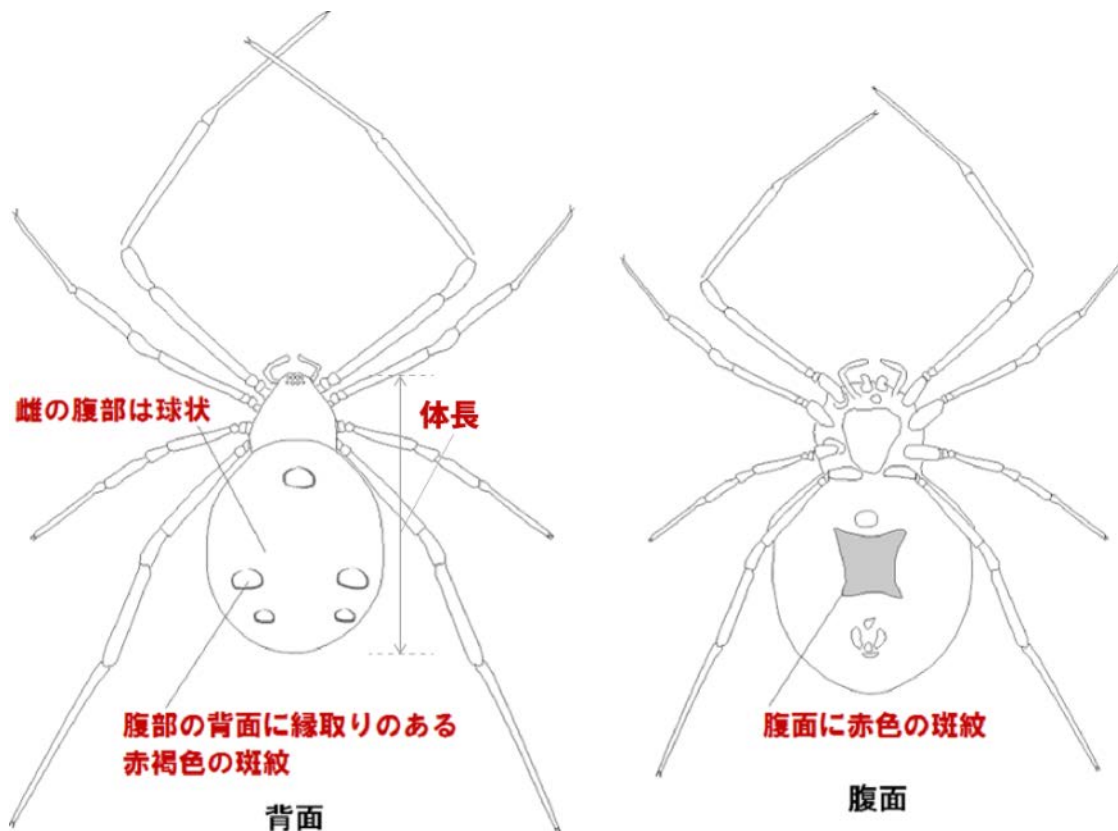
- ・ α -ラトロキシンという神経毒を持ち、咬傷被害のおそれあり。
- ・刺咬により、局所の疼痛、熱感、掻痒感、紅斑、硬結をきたし、区域リンパ節が腫脹する。
- ・通常は、数時間から数日で症状は軽減するが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがある。
- ・重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じる。
- ・人の死亡例は報告されていない（米国南部等における刺咬症事例）。

被害を受けた場合の対処法

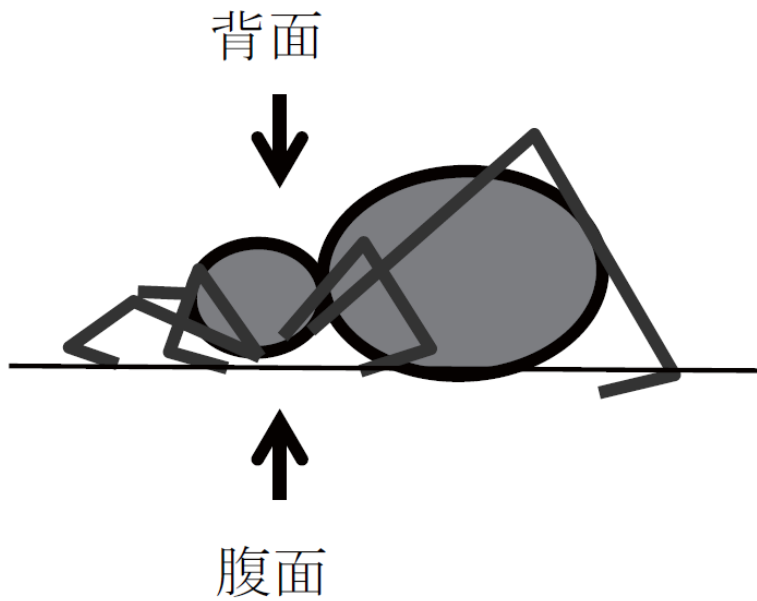
- ・医療機関を受診

特徴・間違えやすい類似種との識別点

【ハイイロゴケグモの特徴】



・クモの体（横からみたところ）



【類似種の特徴】



類似種（1）オオヒメグモ



類似種（2）フノジグモ

"*Synaema globosum*" By joaquinportela



類似種（3）マダラヒメグモ

"*Steatoda triangulosa*" By promiseminime



駆除方法

- ・ピレスロイド系の家庭用殺虫剤を散布する。
- ・皮膚に触れないように靴等で踏み潰す。
- ・熱湯をかける。

 [危険な外来生物 Web サイトへ](#)

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379